



労働基準監督官志望者向け 三重労働局の紹介

労働基準監督官については、平成30年度の採用試験から、労働基準監督官採用試験の最終合格後、最終合格者が勤務を希望する都道府県労働局で採用面接を行い、採用後は、原則として採用された労働局で勤務することとなりました。

この資料では労働基準監督官を志望する方に向けて、三重労働局管轄の監督署や三重労働局での働き方等を中心に紹介しています。

三重県で一緒に働きましょう！

 厚生労働省

三重労働局

職員からのメッセージ



労働基準部長
片野 圭介

労働基準監督官、それは三重を支えるプロフェッショナル

人はなぜ働くのか.....それは自分のため、家族のため、社会のため、そして生きていくため。そんなけなげに働く人々をしっかりと支える存在、それが労働基準監督官です。

そしてこのメッセージをご覧になっている皆さんは、「労働基準監督官には興味があるけれど、三重で働くのはどうなのだろう」と考えていらっしゃるのではないかと思います。

もしそうであればぜひ、三重労働局においでください。三重県には大企業もあれば小さな会社もあり、また業種も、自動車産業や四日市を中心とする重工業からサービス業、大型レジャー施設や伊勢神宮までさまざまです。このようなバラエティに富む立地で、労働基準監督官として多くの経験を積むことができます。

何より大都市である名古屋に近く、また観光地やレジャーも多くあるなど、プライベートが充実するのも、いいところ。そんな三重労働局で、皆さんも労働基準監督官として一生懸命働いてみませんか。



松阪労働基準監督署長
藤田 香

「三重県」で「労働基準監督官」として働いてみませんか

三重県の良さは、都会過ぎず田舎過ぎないので、局内皆の顔が分かり職場の雰囲気も比較的穏やかなところですよ。実は、県外出身者も多く、縁あって三重局に定着した人も沢山おり、温暖で生活がしやすいと三重県での生活を気に入ってくれています。

また、「生まれ育った地域に恩返ししたい」と考え、地方自治体と就職先を迷っている人もいます。労働基準監督官は、国家公務員であり、労働基準関係法令に基づいて全国斉一的な仕事をしていますが、普段は地域に軸足をおきながら、「三重県で働く人」の安心安全な職場づくりに貢献することを職務にしています。地方に軸足を置きながら、全国に同期や知り合いが増えることも楽しみの一つですよ。

地域的にも気質的にも様々な指数においても、いい意味で「真ん中」。産業も気候も立地も日本の縮図のような県です。そんな「三重県」で「労働基準監督官」として働いてみませんか。

三重労働局管轄の労働基準監督署のご紹介

四日市労働基準監督署



当署は四日市市・桑名市・いなべ市など北勢地域を管轄しています。名古屋に近い事もあり、県内でも人口や産業が集中する地域です。

管内の産業は化学コンビナート地帯や自動車部品工場、半導体工場など工業が主ですが、大型のレジャー施設や温泉地域の旅館業などバラエティに富んでおり、

【宮田 署長】 大企業への対応もあれば、業種も多種多様です。

当署は県内で最大規模の署であり、多くの経験豊かな監督官の先輩に教えてもらいながら幅広い経験を積める職場だと思います。

皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



松阪労働基準監督署



当署は松阪市と多気郡を管轄しています。松阪は言わずと知れたお肉が有名ですが、お手頃楽しめるホルモン焼きもおすすめです。管内の産業は、古くから松阪木綿に代表される商人の町として発展してきており、港湾地域や内陸部の工業団地での製造業、また管内の80パーセントを占める森林地帯を中心に林業、木材木製品製造業なども盛んです。自然豊かな多気郡には大規模リゾート施設も立地しています。

当署は、県内では中規模署であり、職員同士も密にコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んでおり、日々若手の成長を実感しています。

皆さんのチャレンジをお待ちしています。



津労働基準監督署



当署は津市、鈴鹿市および亀山市の3市を管轄しています。県庁所在地である津市は県内の企業や団体の本店・本部も多く置かれており、また、世界有数のサーキットがある鈴鹿市には自動車産業が集積しています。亀山市は昔の宿場町の面影も残っておりますが、新名神高速道路の開通とともに物流の結節点とな

【森 署長】 ています。

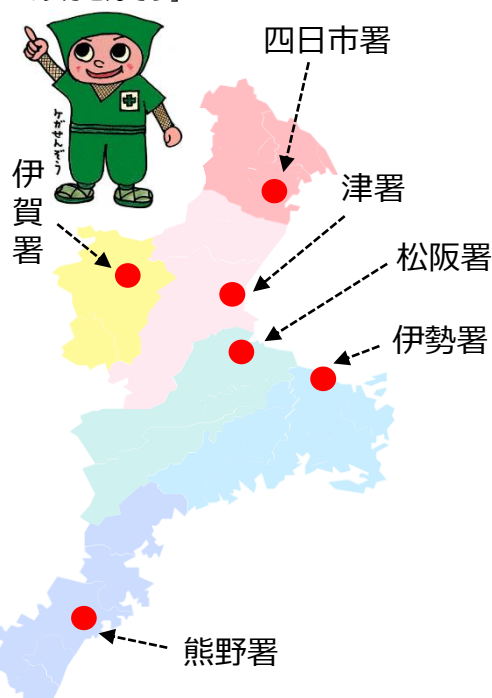
当署は四日市署に次ぐ規模があり、管内の事業場も多いため、大変な仕事もありますが、その分皆さんをサポートしてくれる先輩もたくさんいます。

是非三重で一緒に働きましょう。



名古屋、大阪などの
大都市圏に近く、
アクセスも◎

伊賀署キャラクター
「ケガせんぞう」



産業に偏りがなく、
様々な経験を積めます！

※三重労働局は津労働基準監督署と同じ建物に入っています。

伊勢労働基準監督署



当署は伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡がある南勢地域を管轄しています。一大観光地となっている伊勢神宮と海洋リゾート地である志摩地方があり、観光産業がメインとなっています。

当署では地元サッカーチームである「FC伊勢志摩」とタイアップした労働災害防止活動を展開するなど地域に根付いた行政活動を行っています。全国斉一的な

【古市 署長】 域に根付いた行政活動を行っています。全国斉一的な対応はしっかりと行いつつ、赴任した地でその地域の特徴を生かした活動を行うこともまたやりがい・達成感につながる事だと思えます。

皆さんが労働基準監督官を志してくれることを楽しみにしています。



伊賀労働基準監督署



当署は伊賀市・名張市を管轄しています。伊賀といえば忍者が有名ですが、当署にも「ケガせんぞう」という忍者のキャラクターがおり、労働災害防止に向けた取組に一役買っています。管内の産業は、昭和40年に名古屋と大阪を結ぶ名阪国道が開通したのを転機に両経済圏の中間地域として工業団地が造成され、製造

【小西 署長】 業が盛んな地域となっています。

当署は比較的小規模な署であるため、一人一人の業務の幅が広く、監督官に必要な知識・経験が身につく場だと思います。

使命感、情熱を持つ方にとって労働基準監督官はとてもやりがいのある仕事です。是非私たちと一緒に働きましょう。



熊野労働基準監督署



当署は熊野市・尾鷲市などを含む東紀州地域を管轄しています。管内は「熊野古道」の伊勢路にあたり、各所に有名な峠が存在する他、豊かな自然が魅力の観光地が多く、毎年夏に開催される熊野大花火大会も有名です。管内の産業は製造業をはじめ、地域性から林業、水産業、採石業もあります。同地域は過疎化が進

【半田 署長】 っていますが、高速道路網の延伸により交通の便は改善されてきています。

当署は県内で一番小規模な署ですが、大規模署のような慌ただしさはなく丁寧に業務に取り組むことができます。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



現役監督官に聞きました



三重労働局監督課
小賀坂 監督官
令和28年度任官



松阪労働基準監督署
中原 監督官
平成31年度任官



四日市労働基準監督署
小川 監督官
令和5年度任官



津労働基準監督署
西田 監督官
令和5年度任官

○監督官を目指した理由を教えてください。

- 採用パンフレットや説明会を通して、労働行政の最前線で働く人の健康や安全、そして命を守るために日々奮闘する監督官の方の姿を拝見し、心を打たれました。また、人生において労働が占める割合は非常に大きく、この労働部分の環境などを良くすることは社会を良くすることに直結し、人々の人生の幸福度を向上させるための最も効果的な手段であると考えたからです。(小川)

○なぜ三重労働局を志望したのですか？

- 大規模な工業地帯や観光地、1次産業が盛んな地域もあり、幅広い業種の経験を積めることに魅力を感じました。(西田)
- 説明会への参加を通して、三重労働局には女性の署長が2名もいること(当時)を知り、女性が活躍できる環境であると感じたからです。(小川)
- 私は他県出身で、地元に着定する予定でしたが、三重労働局に赴任した際に先輩方から懇切丁寧な指導を受け、人間関係がよくすごく働きやすいと感じたためです。(小賀坂)

○実際に働いてみて、監督官の仕事はどうですか？

- 職場では同僚と気軽に相談でき、上司からのサポートも手厚くととても働きやすいです。監督官の仕事は、労働者の権利救済を図ったり、事業場の法違反を是正させたりと結果が見えやすく、やりがいがあると感じています。(小賀坂)
- 監督署には、本当に困り果てて最後の頼みの綱として相談に来る人も多いです。暗い顔をして相談に来た事業主や労働者の方が晴れやかな顔で帰っていくとき、この仕事をやっていて良かったと思えます。(中原)

○三重労働局の魅力とは？

- 働いてみて分かったのですが、本当に日本のあらゆる業種がぎゅっと詰まった県なので、たくさんの貴重な経験が積めます。一度きりの人生ならば、いろいろな体験をした方が絶対お得ですし、それを一番かなえてくれるのが三重局だと思います。(中原)
- 大都市圏に比べ、一つの仕事にじっくりと取り組むことができ、またいろんな業種を学ぶことができるので、経験を積む場所としてはもってこいだと思います。(小賀坂)

○三重県での暮らしはどのようなですか？

- 休日は、北に行ったら名古屋や長島で買い物を楽しみ、南に行ったら有名観光地や自然豊かな山海を楽しんでいます。最近特にトレッキングにはまっています。(中原)
- 東京や名古屋、大阪と比較して静かで落ち着いて住みやすい街です。近鉄が通っていますし、買い物する場所もあるので不便ではありません。(小川)

○ワークライフバランスはとれていますか？

- 残業が0時間の月も多く、上司の方々も定時で退庁されている姿をよく見かけるので、私生活との両立は十分可能です。マンスリー休暇制度が導入されているため、有給休暇は毎月1日以上取得することができています。(小川)
- ワークライフバランスはよくとれていると思います。残業はゼロではありませんが、夜遅くまですることはまずありません。定時で帰れることが多く、終業後もプライベートの時間を十分に楽しむことができます。有給休暇も、周りの職員が積極的に取得していることもあり、非常に取得しやすいです。(西田)



新任・若手監督官のサポート体制

新任・若手監督官に向けて 様々な研修等を実施

採用後すべての監督官に実施される
実地研修・中央研修に加えて、三重労働局**独自で様々な研修等を実施**
しています。

近年では以下の研修等を行っています。

- 事業がある地域が限定される業種
への合同での実地訓練
- デジタルフォレンジック機器※の
使用方法を学ぶ捜査能力向上に向
けた研修
※電磁的記録として保存された記録の収集・
解析を行う機器
- 検察官をお招きした司法実務に関
する研修



※フルハーネス型墜落制止用器具の着用点検



宿舎もあります！

局内での異動がありますが、県内
各地に宿舎が整備されています。

また、熊野署以外は津市内の宿舎
からの通勤が可能であり、県内で異
動があった際に毎回引越す必要はあ
りません。

宿舎は民間の賃貸物件と比べると
新規採用者でも安心の料金となっ
ており、また敷地内に駐車場も整備
されています。

新任・若手監督官に向けた サポート体制も充実

心の健康の保持増進のため、三重
労働局では新規採用・若手職員を対
象にメンター制度を設け、新規採
用・若手職員一人一人に年齢の近い
先輩（メンター）をつけ、**仕事上の
悩みなどを相談しやすい環境づくり**
に努めています。

また、最近では健康管理医等から
講習を受けた後、グループに分かれ
て年齢の近い先輩職員と自由に相談
できる場を設けるグループメンタリ
ングを実施しており、**新規採用・若
手監督官に向けたサポート体制を充
実**させています。



新卒者だけでなく、
**民間経験者も含め、
多くの監督官が活躍
しています！**

ワークライフバランスの確保に向けた取組

時間外労働の削減の取組を進めています！

ワークライフバランスの向上、職員の健康の保持増進のため、毎週水曜日の全省庁一斉定時退庁日に加え、毎週金曜日を「三重労働局一斉定時退庁日」に定め、時間外労働の削減に努めています。

月の時間外労働の実績ゼロを達成している職員も多数います！



労働基準局広報キャラクター「たしかめたん」

休暇の取得を推進しています！

三重労働局では職員に毎月1日以上の有給休暇の取得を促進する「マンスリー休暇制度」を設け、休みやすい環境づくりに努めています。

令和5年度はほとんどの所属で90%以上の職員がマンスリー休暇を取得しました。

また、ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始休暇に合わせて有給休暇を2日以上取得することを奨励し、1週間以上の休暇を取得することも推進しており、5年ごとに1週間以上の休暇を取得する節目休暇制度などもあります。



男性職員の育児休業取得を推進しています！

昨年度三重労働局では子供が生まれた男性職員で1か月以上の育児休業を希望する方の取得率100%を達成しました。もちろん女性職員の取得率も100%です。

育児休業取得後も育児の状況に応じて出退勤時間の変更や各種休暇制度、職場でのサポート体制の構築など育児と仕事の両立に向けた環境づくりに努めています。

その他介護などについても各種休暇制度等を設け、家庭生活と仕事の両立を図っています。



現役監督官の話を聞いてみたい…
職場を見学してみたい… などあれば

是非お気軽にご連絡ください！

三重労働局労働基準部監督課（担当：梅原・小賀坂）
電 話：059-226-2106